

2024年度事業報告書

I 法人の概要

1 学校法人の沿革

昭和40年12月28日	学校法人第二静岡学園寄附行為認可・静岡学園高等学校設置認可
昭和41年 4月 1日	静岡学園高等学校開校、普通科・商業科開設
昭和46年 4月 1日	静岡学園高等学校理数科開設
昭和53年 4月 1日	静岡学園中学校開校
昭和63年 4月 1日	静岡学園短期大学開学、経営情報科・英語科開設
平成 6年 4月 1日	静岡産業大学開学、経営学部経営環境学科開設
平成 7年 9月 5日	静岡学園高等学校商業科廃止認可
平成 8年 4月 1日	静岡学園短期大学英語科を英語コミュニケーション学科に名称変更
平成10年 4月 1日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科開設
平成11年12月22日	静岡学園短期大学廃止認可
平成13年 4月 1日	静岡産業大学経営学部情報マネジメント学科開設
平成17年 4月 1日	静岡産業大学経営学部経営学科・スポーツ経営学科開設 情報学部情報デザイン学科・国際情報学科開設
平成21年 6月29日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科廃止届出 経営学部経営環境学科・情報マネジメント学科廃止届出
平成23年 4月 1日	学校法人新静岡学園に法人名変更 静岡学園高等学校教養科学科開設
平成24年 4月 1日	静岡産業大学経営学部心理経営学科開設
平成26年 3月28日	静岡学園高等学校普通科・理数科廃止認可
平成29年10月12日	学校法人新静岡学園寄附行為変更認可(収益事業)
令和 3年 4月 1日	静岡産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科開設
令和 5年 7月 3日	静岡産業大学情報学部情報デザイン学科・国際情報学科廃止届出

2 設置する学校、学部、学科等

静岡産業大学 経営学部 経営学科
 (静岡県磐田市大原1572番地1) スポーツ経営学科(磐田)
 (静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号) 心理経営学科

スポーツ科学部 スポーツ科学科
 (静岡県磐田市大原1572番地1)

静岡学園高等学校 全日制課程 教養科学科
 (静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地)

静岡学園中学校
 (静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地)

(2024年5月1日現在)

3 各学校等の入学定員、現員数

(単位:人)

学校名	学部等名	学科名	入学定員	3年次 編入学定員	入学者数	収容定員	現員
静岡産業大学	経営学部	経営学科	280	10	231	1,060	1,243
		スポーツ経営学科	—	—		—	
		心理経営学科	70	—		360	
	スポーツ科学部	スポーツ科学科	120	—	136	480	494
合計			470	10	367	1,900	1,737
静岡学園高等学校	全日制課程	教養科学科	360		341	1,080	1,096
静岡学園中学校			90		98	270	283
法人合計			920	10	806	3,250	3,116

(2024年5月1日現在)

4 役員、評議員に関する事項

【理事】

理事長 鈴木善彦
 理事 三枝幸文
 理事 大坪 檀
 理事 堀川知廣
 理事 鳴嶋吉彦
 理事 佐野典秀
 理事 高橋和子
 理事 幡野公一
 理事 酒井宏高
 理事 戸上常司
 理事 林 範夫
 理事 高木昭三
 理事 鷺崎早雄
 理事 丹羽由一

【監事】

監事 岡田修二
 監事 馬場 孝

【評議員】

評議員 三枝幸文
 評議員 小林正敏
 評議員 江崎晴城
 他 26人

(2025年3月31日現在)

【役員賠償責任保険契約】

保険契約者: 日本私立大学協会(団体契約)

(引受保険会社: 東京海上日動(幹事)、三井住友海上、明治安田損害保険)

5 教職員に関する事項

(単位:人)

部門	区分	教員	職員	内訳			
				本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員
経営学部		106	50	40	39	66	11
スポーツ科学部		35	18	19	15	16	3
静岡学園高等学校		99	18	67	10	32	8
静岡学園中学校		25	1	18	1	7	
法人			3		2		1
計		265	90	144	67	121	23

(2024年5月1日現在)

II 事業の概要

[主な教育・研究の概要]

1 法人

学生、生徒に優れた教育環境を提供し、社会の発展に寄与する有為な人材に育成するため、本学園では、学校経営の重点課題として「公器性の高い法人改革」「教職員の資質向上」「財政基盤の健全化」を掲げ、これらの実現に向けて取り組んでいます。

2024年度においては、次の施策を実施しました。

1. 健全な経営体質を維持するため、各設置校の中期計画に基づいて、具体的行動計画を作成して業務を推進しました。
2. 「人事基本理念」に基づき、「採用する人物像」に相応しい教職員の確保、「求める教職員・管理職像」に相応しい教職員の資質向上、働きがいと活力のある組織・職場づくりを実現するため、以下の取り組みを行いました。
 - ・法人内事務職員対象：人事評価制度実施に向けた人事評価研修
管理職を対象としたハラスメント防止研修
 - ・大学教員対象：ラーニングメソッド研究会、研究発表大会
 - ・中高教員対象：教員全体研修
 - 第1回 レジリエンスについての正しい知識を得る
 - 第2回 smarky(デジタル採点システム)の使用方法を学ぶ
 - 第3回 授業評価・学校評価アンケート分析報告
 - ・教育・研究及び学校運営の強化・充実につながる優秀な人材確保
 - ・教職員一人ひとりの健康管理サポート(ストレスチェックの実施)の継続
 - ・働き方改革を推進するため、社会保険労務士法人と委託契約を締結し、就業規則や給与制度、人事評価制度など、人事労務全般にわたる見直し作業の継続
3. 本学園の施設の現状把握を行い、学校施設における必要な法定点検と自主点検の項目を明確にし、施設の長寿命化対策を行いました。

監事監査においては、本学園の業務の執行に関して、学校経営の健全性と効率性の観点から検証を行うとともに、教育の現状や研究活動の活性化への取り組み状況等、教学における監査を実施しました。また、理事長、学長、校長等に対して、経営方針や教育方針の達成度の確認、幹部教職員に対しては学内施設設備の状況、教職員の労働環境等に関してヒアリングやアンケート調査を実施しました。(延べ監査回数 24回)

2 静岡産業大学

【学内組織・教育体制等】

- ・ 1994年4月磐田市に開学した静岡産業大学は2024年に開学30周年を迎えるにあたり、これまでの30年間の大学の歩みを振り返り、多くの皆さまのご支援に深く感謝するとともに今後30年のビジョンをもって、更なる地域への貢献を約束するため、次の(13の)記念行事を企画し実施しました。
 - ①なでしこ1部リーグSSUボニータ「静岡産業大学開学30周年記念マッチデー」の開催(2024.5.5)なでしこ1部リーグ第8節「SSUボニータvsバニーズ群馬/ゆめりあ」を『静岡産業大学マッチデー』と銘打ち開学30周年記念マッチとして開催、本学をPR
 - ②ジュビロ磐田とのパートナーシップ、連携協定締結とJ1リーグ「静岡産業大学開学30周年記念マッチデー」の開催(2024.6.22)磐田市のヤマハスタジアムにおいて、2024明治安田J1 LEAGUE「ジュビロ磐田マッチ』として開催、イベント広場にて大学ブースtentを設営し、本学の取組などをPR。またスポーツ科学部の教員、学生による「ロコモ度チェックテスト体験ブース」を設け、体験していただいた方ほか、本学オリジナルグッズをプレゼントし、1万人を超える入場者に本学をPR

- ③浦田周社木版画美術館「静岡産業大学開学30周年記念企画展の開催
(2024.10.1～2025.3.31)「明日へつづく輝(ひかり)」藤枝キャンパスのアート部学生が企画を担当し、作品選出も実施
- ④「NAOJIM(ナオーゼム)のピアノが産大にやってきた！」開学30周年記念コンサート
松山ピアノ製作所(浜松市:1955年創業)で製作され、「静岡県重要産業発明表彰」を受賞した貴重なNAOJIMのピアノ寄贈を受け、これを磐田キャンパス内に設置するとともに、開学30周年記念イベントとして「ピアノお披露目式典～NAOJIMのピアノが産大にやってきた！～」を開催:「イタリアオペラで迎える日本ピアノ製造史+記念コンサート」
- ⑤スポーツ関係イベント(磐田キャンパス)
- ◆「山本篤×味の素(株)～挑戦を続けることで切り拓く未来～トークショー&義足体験」
「スポーツ×栄養」をテーマに、味の素の所属の栄養士から栄養についての勉強会とパラオリンピック選手からの経験を基にした栄養とスポーツの繋がりトークイベントを30周年記念事業として実施。
【共同主催】「味の素」+「テレビ静岡」+「第一TV」+「静岡朝日テレビ」+「静岡放送」
 - ◆「晴れスポ」(Well-being Sports Project)の開催
「スポーツを体験して、心も身体も晴れ晴れしよう」をテーマに、Well-beingの向上につなげていくプロジェクト。スポーツを通じた「健康で幸せな社会づくり」、「共生社会の実現」を目指して、30周年事業として実施。
【共同主催】「MS&ADインシュアランスグループ」+「読売新聞」
- ⑥本学「大学祭」との連携(磐田・藤枝両キャンパス)
- ◆藤枝キャンパス鳳翔祭:2024.11.2・3 ◆磐田キャンパス蒼樹祭:2024.11.3
パンフレット・ポスターに開学30周年ロゴを掲出ほか来学者へ開学30周年オリジナルグッズを配布しPR。
- ⑦開学30周年記念シンポジウム in BiViキャン
(2024.11.21)藤枝市との共催、藤枝商工会議所の後援を受け、市との連携の拠点であるBiViキャン(藤枝市産学官連携推進センター・静岡産業大学藤枝駅前サテライトキャンパス)において、『地域未来を創る～持続可能な地域活性化戦略』をテーマに、「地域おこし協力隊」にスポットを当てたシンポジウムを開催。(企画調整:本学総合研究所)
- ⑧「海外同窓会」の開催(同窓会の協力を得て実施)
- ・インドネシア(ジャカルタ市)にて11/23開催、約20名の卒業生と同窓会を開催
 - ・中国(福建省福州市)12/21開催、14名の卒業生と同窓会を開催
- ⑨ジャパンラグビーリーグワン/静岡ブルーレヴズとの連携
12/21NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2024-25 第1節[開幕戦](ヤマハスタジアム)を開学30周年記念事業として応援。(記念動画のスタジアム大型ビジョン放映、教員・学生によるブース出展)
- ⑩「静岡産業大学ダンスのタベ2024～ダンスダンスダンス～」の開催
12/22磐田市民文化会館「かたりあ」磐田市及び磐田市教育委員会が後援。
(令和6年度文化芸術による地域振興事業(文化芸術専門協働事業)助成金)
- ⑪「開学30周年記念誌」の発行
2025年2月発行(ページ数50頁・500部)2/14の記念式典出席者に配布。
- ⑫開学記念式典・祝賀会inIWATA
2025年2月14日磐田市「GREENITY IWATA」にて開催、副知事、磐田市長、藤枝市長など自治体関係者、学生、教員等約200名が出席、トークショーには野々村芳和Jリーグチェアマンを迎えて開催、大学同窓会より大学宛寄付金(350万円)の贈呈あり。
- ⑬J2リーグ藤枝MYFC「静岡産業大学開学30周年記念マッチデー」
2025.3.15、J2リーグ第5節 藤枝MYFCホームゲーム(藤枝MYFC vs いわきFC)を「開学30周年記念マッチデー」として開催。
- ・私立学校法の改正を受け、2020年度から2024年度までの5年間を対象とした中期計画とより具体的な年度計画、さらに実施行動計画、スケジュールを落とし込んだアクションプランを作成し、「教育の質的転換に向けた教学マネジメントと改革」等を重要政策に位置付け、

「海外研修」の実施により継続的な教育の質的向上を目指すなど様々な取り組みを進め、2024年度は海外研修A(韓国)、海外研修B(台湾)にそれぞれ16名、13名の学生が参加し、充実した海外研修を実施することができました。

- 大学での学び方について研究する「第14回ラーニングメソッド研究会」を開催し、「留学生から見た静岡産業大学」をテーマに、本学で学んだ留学生(卒業生)のパネル発表と意見交換を行いました。
- 第19回全学研究発表大会を開催しました。本大会は多様な研究分野の教員がお互いの研究を聞き、また議論することによって、本学の研究の質的向上を目指すために行っています。本年度は4名の教員が研究成果の発表を行いました。
- 私立大学等改革総合支援事業において、プラットフォーム ふじのくに・地域大学コンソーシアムとして「タイプ3(プラットフォーム形成)」が7年連続で選定されました。
- 最先端の実践的教育を展開するために、産業界及び各種団体による寄付講座を16講座開講しました。(磐田キャンパス：磐田市、ヤマハ発動機、静岡県経済産業部(新産業集積課)、スズキ、ジュビロ磐田、浜松いわた信用金庫、静岡ブルーレヴズ、タニザワフーズの8講座、
藤枝キャンパス：藤枝市、藤枝商工会議所、藤枝ロータリークラブ、静岡銀行、中部電力、電通東日本、TOKAIグループ、静岡市、静岡県行政書士会の9講座)
- 入学試験合格者の入学意欲を高めるため、合格者向けイベントを開催しました。在学生が企画したイベントに両キャンパス合わせて87名の合格者が参加し、交流を深めました。
- 経営学部において、リーダーを育成するため、高校等での探究研究(課題研究)で学び得た力を生かし、自身で設定した地域課題や社会的問題などのテーマに基づき、プレゼンテーションを行う「探究プレゼン入試」を行い、合格者には特待生資格を付与しました。
- 海外協定校からの留学生は、3年次編入学生として前期に廈門大学国際学院から8名、後期に廈門大学国際学院から43名、短期留学生として大真大学から前期に1名が入学しました。
- スポーツ科学部では、7つの進路先を把握するためのフォーマットからなる「なるにはシート」を活用し、学生の進路先を把握するとともに、アドバイザー教員による学生指導を行いました。
- 卒業後に就職を希望する学生向けに、次のとおり学内説明会を実施しました。
オンライン個別説明会(2024年4月に参加2社、2024年5月に参加3社、出席学生19名、4年生対象)
学内合同説明会(2025年1月に2回、参加37社、出席学生117名、2025年2月に1回、参加60社、出席学生157名、2025年3月に1回、参加4社、出席学生13名、全て3年生対象
※一部、1、2年生も出席)
- 地域社会に貢献し、公共の福祉の担い手となる人材を育成するため、「公務員受験講座」をオンラインで開講しました。
- 就職難易度が高い企業や自分が希望する就職先を目指す学生向けに「就職塾」を開講しました。
- 卒業後のビジネスの現場ですぐに必要なとされる知識を学ぶ「ビジネス塾」を開講しました。
- 学生の英語力の向上とTOEIC受験の動機づけを図るため、資格取得サポートセンターではTOEIC L&P IP テストの集団受験を2024年7月に実施しました。
- 資格・免許の複合的な合格・取得の一つとして推奨している、ファイナンシャルプランニング技能士に挑戦する意識醸成を図るため、FP資格の取得に向けた説明会を2024年12月に対面とオンラインのハイフレックス方式で開催しました。あわせて総合研究所で行う資格講座の告知も行うことで、受講への誘導を図りました。
- 有料職業紹介(就職エージェント)の利用に関して注意を促す説明会を、2024年12月にオンラインで開催しました。
- それぞれが持つ資源を有効活用して連携事業に取り組むことでスポーツの振興を図るため、4月16日にあいネットグループ、6月15日に(株)ジュビロ、3月27日に(一社)アザレア・スポーツクラブとそれぞれ連携協定を締結し、教育・研究・就職・情報発信・地域振興など

の分野で連携していくこととしました。

- ・日本での就職を希望する留学生を対象にした「留学生就職セミナー」を2024年7月と12月にオンラインで開催しました。
- ・カレッジスポーツを推進するため、2024年4月に「強化スポーツクラブに関するガイドライン」を充実・改正し、強化スポーツクラブのガバナンス強化とより一層のコンプライアンス遵守を図りました。(カレッジスポーツクラブ 17団体 527名)
- ・強化スポーツクラブ所属の全部員(1～3年生)を対象にしたコンプライアンス研修会をユニバス法務担当弁護士を講師にお迎えし、2025年3月に実施しました。

【施設・設備関連】

- ・「新課程」大学入学共通テストに対応するため、入試システム的大幅改修を行いました。
- ・DX推進に対応するため、老朽化した職員用ノートパソコン66台を、Windows11対応の最新型パソコンに更新しました。

(1) 磐田キャンパス(経営学部、スポーツ科学部)

【学内組織・教育体制等】

- ・2021年4月に開設したスポーツ科学部では、初年度109名、2022年度122名、2023年度155名、2024年度136名の学生が入学し、最先端の設備を活用しながら、スポーツについての科学的根拠に基づく論理的な学びを実践しています。
また、スポーツ科学部スポーツ科学科に設置した中学校教諭一種免許状(保健体育)課程及び高等学校教諭一種免許状(保健体育)課程では、1～4年142名の学生が教員を目指して必要な科目を履修しています。
- ・スポーツ科学部1年次の基礎ゼミナールでは、「ジュビロ×スポーツビジネス×地域」をテーマにゲストスピーカーを招聘し、スポーツ科学部での学び、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「知る」の一端を学ぶ機会を設けました。
- ・スポーツ科学部のリーダーを育成するため、自身で設定したスポーツ競技や運動の技術・やり方等のテーマに基づき、技術・方法の実演や資料を用いたプレゼンで選考を行う「スポーツプレゼンテーション入試」を実施しました。
- ・「次世代技術で産業構造を転換」をメインテーマに、「第14回産業振興フェアinいわた」が193企業・団体の参加を得て、11月8・9日に開催されました。本学からは経営学部とスポーツ科学部、総合研究所がブースを出展し、熊王教授、木村講師、大島講師等が運営を担当しました。
- ・2024年度実施の公立教員採用試験において14年連続の合格者(11名)を輩出しました。その内6名が現役合格です。
静岡県7名(特別支援学校中学部7名)
静岡県外4名(中学校保健体育1名 小学校3名)
- ・保育士養成課程の第7期生4名が国家資格である「保育士資格」を取得しました。
- ・難関資格に挑む学生を応援する「資格・免許取得奨励金」を、幼稚園二種免許状取得(1名)、小学校教諭二種免許状(2名)、TOEIC700点以上(3名)、宅地建物取引士(2名)、日本語能力検定N1(1名)の合格者9名・9件支給しました。
- ・スポーツ科学部の学生を中心に、アスリート向けセミナーを開催しました。
富士物産・Ath-UP様のご協力をいただき、低学年から将来のキャリアを考える、セカンドキャリアについての知見を得る機会となりました。(2月7日開催)
- ・2024年度実施の公務員採用試験において12件内定を獲得しました。
法務省・名古屋矯正管区、法務省刑務官
行政職 藤枝市、足利市
静岡県警察本部4名、長野県警察、福井県警察、宮崎県、掛川市消防
- ・キャリアデザイン講座(Ⅰ:2年生必修及びⅢ:3年生必修)で企業研究会を実施しました。

(2年生必修科目:2024年11月・3社、Ⅲ:2024年11月・4社)

- ・地域協力団体との連携を強化し、地域スポーツの推進を図るため、2016年に設立した「いわた総合スポーツクラブ」は、幼児から高校生までを対象とした総合型地域スポーツクラブ(種目:体操、サッカー、柔道、トランポリン、プレスクール)で、461名の参加を得て活動を行いました。
また、昨年度に引き続き、今年度4月から成人向けのヨガ教室を開講、3クール実施し、50名(地域住民42名、教職員8名)の参加がありました。
- ・大学祭「蒼樹祭」では、ダンス部、軽音部などによるパフォーマンスやスポーツフェスティバル、毎回好評のフリーマーケットや模擬店などを開催、約1,200名が来場しました。

【施設・設備関連】

- ・文科省の補助金制度(教育基盤設備)を活用して、3204パソコン教室をWindows11対応の最新型パソコンに更新しました。また、教室を40席→56席に増改築して、収容人数を増やしました。
- ・老朽化した各教室(3101・3102・3304・3305)のプロジェクターを5,000lmクラス以上の最新モデルに更新しました。
- ・第2スポーツセンター1階にある老朽化したトレーニングルームの内装、トレーニング機器、床マット等を全面的に改修し、新たにウエイト系7機種14台、有酸素系7機種9台を設置するとともに、既存の8機種10台を分解修理・再塗装のうえリユースし、新たなシンボルスペースとして2025年3月3日にリニューアルオープンしました。
- ・食堂にキャッシュレス決済機を導入し、利用者増加につながりました。
- ・学生が安心・安全に大学生活を送れるように、監視カメラ2台の増設を行いました。

【総合研究所事業】

- ・市民や学生を対象とした資格講座(宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング3級の2講座)を開講し、70名(うち本学学生44名)が受講しました。
第31回公開講座では、今年度初めてスポーツをテーマに取り上げ、78名の受講者が受講しました。また、リカレント講座には、171名が受講しました。

(2) 藤枝キャンパス(経営学部)

【学内組織・教育体制等】

- ・地方自治体等の地域課題解決事業として、静岡市など県中部5市2町(3件)、藤枝市(1件)、ふじのくに地域大学コンソーシアム(2件)が採択されました。
- ・難関資格に挑む学生を応援する「資格・免許取得奨励金」を、TOEIC700点以上(3名)、宅地建物取引士(1名)、日商簿記1級(1名)、日本語能力検定N1(1名)の合格者6名・6件支給しました。
- ・2024年度実施の公務員採用試験において9件内定を獲得しました。
防衛省・自衛隊(幹部候補生、一般候補生、自衛官候補生)、法務省・名古屋矯正管区、静岡県警察本部、静岡県(障がい者雇用)、沼津市(障がい者雇用)、牧之原市
- ・キャリアデザイン講座(Ⅰ:2年生必修及びⅢ:3年生必修)で企業研究会を実施しました。
(2年生必修科目:2024年12月・3社、Ⅲ:2024年11月・4社)
- ・地元就職応援プログラムとして、志太地区の企業・団体との交流会を藤枝商工会議所と共催で開催しました。(2024年11月に2回開催)
- ・「日本語教育研究センター」の主催による「俳句コンテスト」を実施し、全国から2,148名(一般の部 329名、学生の部 1,819名)の応募がありました。
- ・大学祭「鳳翔祭」では、毎回好評のチャリティーバザーや模擬店、軽音部・高校ダンス部・アイドル・お笑い芸人によるステージなどを開催し、2日間で約650名が来場しました。

【施設・設備関連】

- ・ 体育館のカーテンの修繕を行いました。
- ・ 西側駐車場の一部を学生専用駐車場とし、整備いたしました。
- ・ 第2変電キュービクル更新工事を行いました。
- ・ 図書館へ学生用課金複合機を設置いたしました。
- ・ 食堂にキャッシュレス決済機を導入し、利用者増加につながりました。
- ・ 老朽化した各教室(2102・2103・2202・2205)のプロジェクターを5,000lmクラス以上の最新モデルに更新しました。
- ・ 体育館に可動式の75インチ大型ディスプレイを設置しました。

【総合研究所事業】

- ・ 市民や学生を対象とした資格講座は宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング2・3級、ITパスポート、MOS・Excel講座、日商簿記3級の6講座を開講し、71名(うち本学学生20名)が受講しました。また、藤枝市より「藤枝市民大学」の実施運営事業を受託し、一般教養コースは一般教養教養講座(10講座)151名・地域学講座(10講座)155名、リカレント教養コースは基礎講座(10講座)46名・専門講座(10講座)28名、資格取得講座(7講座)84名、リスキリング講座(11講座)46名が受講しました。
- ・ 「人口減少社会における持続可能な地域づくり」をテーマに藤枝市から連携共同講座事業を受託し、県内6大学との共同講義、大学紹介を開催しました。また、2大学の講師によるフィールドワークを開催しました。講義等には県内26人の高校生が参加しました。本学教員2名が講師を務め、司会進行等運営は本学学生が行いました。

3 静岡学園中学校・高等学校

【校内組織・教育体制等】

- ・ 教育活動全般をコロナ禍以前の形に戻すことができました。健康上の理由で教室に入れない生徒に対しオンライン授業を実施したり、真夏や真冬の時期に教室にいる生徒に朝礼・集会をオンライン配信したりするなど、コロナ禍に得たスキルは有効に活かしています。
- ・ 今年度も「カリキュラム検討(緑風塾・中高一貫)」「緑風塾(運営・内容検討)」「同窓会活動検討」「危機管理」「情報・視聴覚機器」といった課題別のワーキンググループを校務分掌や学年の垣根を超えた職員で組織し、それぞれが教養科学科としての教育活動を深化・円滑化するための対応を検討し、一部は実践に至りました。
- ・ 今年度の中学・高校の新生から新制服を導入しました。実際に着ている生徒はもちろんのこと、一日体験入学や説明会に訪れた小学生・中学生やその保護者からも好評です。募集活動にとって良い追い風になればと期待しています。
- ・ 教員のスキルアップを目的に、全教員を対象とした3回の研修(生徒のレジリエンス向上に向けた研修、外部講師による授業評価・分析研修、ICT支援アプリの研修)を行いました。
- ・ 「自主・自律の精神」「共生の精神」「真理と生命を尊ぶ精神」「進取の精神」の教育理念に基づき、10年後・20年後、地域や世界に貢献し、真のエリート・リーダーとして未来を創造する人材を育てるため、以下の6つのプログラムを推進しました。
 - ① SHIZUGAKU GOLDEN TIME(略称「SGT」)。正規の授業以外の時間や空間を利用し、授業では身につけられないような教養を身に付けるための機会。)
 - 本校教員による特色ある講座、3年生中心の補習系講座のほか、大学教員・裁判官・プログラマー・工芸家などの外部講師による多種多様な講座を開講しました。また、安倍川奥の棚田における「農業体験～棚田で遊ぼう」などの講座も引き続き開講しました。
 - 第59回開校記念式の記念講演では、講師として神戸親和大学教育学部スポーツ教育学科の教授をお招きし、「スポーツを語るために ～私にとっての○○とは～」という演題でお話いただきました。
 - ② 全校ボランティア活動(社会貢献の喜びを中高生の時に体験)
 - 8月に東日本大震災の被災地を訪れる「東北ボランティア」(2泊3日)、3月には静岡

マラソンの運営を補助するボランティア(2日間)にて活動しました。また、継続的にペットボトルキャップ回収を行っています。また、3月からは(株)パイロットコーポレーションの協力のもとプラスチック製文房具のリサイクル活動を始めました。

- ③ インターナショナルプログラム(多様な文化や価値観を理解する資質とコミュニケーション能力を養う)
 - 生徒の英語4技能の向上を目的として、英語の授業にオンライン「Weblio英会話」(各生徒10～15回実施)を導入しました。
 - 11月に高校2年生による台湾への修学旅行、3月に希望生徒によるオーストラリア語学研修、優秀生徒によるニュージーランド語学研修(派遣)を実施しました。
 - ④ 地域共生活動(地域の方々に誇りに思ってもらえる学校づくり)
 - 近隣の太田町商店街主催の「フェスタ太田町」に生徒会執行部・放送局・応援指導部・吹奏楽部・美術部が参加し、その他、吹奏楽部は袖師地区青少年健全育成推進パレードにて演奏するなど、地域の活性に貢献しました。
 - 防災訓練等でも近隣町内との連携が密になっています。
 - ⑤ 総合的学習の時間「緑風塾」(問題意識や課題を持ち、学ぶ意義や人生の意味を理解)
 - 高校1年生と2年生は、各学年で5、6名程度のグループをつくり、自らが課題を見つけ、解決策をプレゼン発表していく中で、「主体的、対話的で深い学び」を実践しました。また、高1年生の緑風塾に、中学部で導入実績のある「シズクリプロジェクト」(後述)を導入し、探究活動の深化を試みています。
 - ⑥ 日本の伝統文化継承プログラム(わが国の伝統・文化を身近に体験、日本人としての誇りと自覚を持つ)
 - 中学生の将棋・囲碁・かるた・日本画の和文化体験、礼法を含めたお茶会を実施しました。
 - ・ 中学生にも特色ある教育プログラムを体験してもらっています。英語力や国際的視野を育成する目的で、8月・12月にイングリッシュキャンプを2回開催しました。また、1年生は英語集中プログラムを3日間実施、2年生の自然体験教室ではオールイングリッシュのアクティビティに挑戦、3年生の九州修学旅行では立命館アジア太平洋大学の留学生との英会話実践に取り組みました。さらに、中学校として博報堂教育財団主催の「日本語交流プログラム」参加校に選ばれ、今年度から来年度にかけて3年生が中心となって世界5カ国20人の中学生と交流していきます。また、1年生と2年生は地域企業連携探究型活動「シズクリプロジェクト」に参加しました。
 - ・ 防災対策として避難訓練、防災訓練を実施し、非常時の対応を学びました。また、防災以外の危機管理の充実に目的に、新しい「危機管理マニュアル」を検討・作成しています。
 - ・ 大学合格者数は、国公立大80名、私立大では早慶上理関関同立GMARCH医の難関私大133名となり、そのうち国公立大医学科に2名、私立大医学科に5名が合格しました。
 - ・ 部活動ではサッカー部(中高)・柔道部(中高)・卓球部(高校)・体操部(高校)・テニス部(中学)・応援指導部(中学)・写真部(高校)が全国大会に出場し、そのうち、高校柔道部の個人1名が全国高校選手権で準優勝となり、高校卓球部も全国高校総体と全国高等学校選抜大会でともに団体3位になりました。
 - ・ 静学祭は昨年度に引き続きフルオープン開催となり、3,300名もの来場者で賑わいました。
 - ・ 一日体験入学や入試説明会も入場制限なしで実施し、毎回約1,500組に参加していただきました。
 - ・ 本校オリジナル「静岡学園中学校・高等学校図書館図書100選」、中学生用「私の作る読書ノート」および新聞を用いた探究活動を記録する「教養科学の樹」を配布しました。
- 【施設・設備関連】**
- ・ 校内すべてのトイレの改修(洋式化・ウォシュレット取り付け)を行いました。
 - ・ 避難誘導灯の更新を行いました。
 - ・ 特別教室等へ大型液晶モニター21台を新たに設置しました。

[中期的な計画(教学・人事・施設・財務等)及び事業計画の進捗・達成状況]

建学の精神(孝友三心(服する心、感謝する心、全うする心))を教学の基本理念に掲げ、各設置校において、人間教育を実践しています。

学校法人及び各設置校は、以下の基本戦略、重点政策を掲げた中期計画(2020年度～2024年度)及び事業計画に沿って、上記掲出の主な教育・研究の概要のとおり遂行しました。

(学校法人新静岡学園)

- I 財務体質の強化「教育力の向上と地域の信頼による入学者確保」
- II ガバナンス体制「理事長・学長の意思疎通の円滑化・常任理事会の充実・監査機能の実質化、内部統制体制と内部監査体制の確立」
- III 人事「資質向上と意識改革」
- IV 給与制度の再構築「定年制度、給与制度等の検討」
- V ファシリティマネジメント「教育活動上の必要性や優先順位、教育効果を考慮した適正規模、内容の施設整備計画の作成」
- VI 危機管理及び法令順守「危機管理体制の拡充」
- VII 外部要因を視野に入れた発展戦略の策定

(静岡産業大学)

- I 教育の質的転換とその実質化
- II 大学改革事業推進のための財務基盤の確立
- III 中期計画の着実な遂行のための組織ガバナンスの強化
- IV 開学30周年事業の実施

(静岡学園中学校・高等学校)

- I 教育内容とその充実
- II 入学者の質(学力)と定員の確保
- III 大学進学実績の向上
- IV 生徒・保護者の満足度の向上
- V 教員の質の向上と定数の適正化
- VI 施設・設備の充実
- VII 財務状況の改善

4 主な事業の実績

(1) 事業活動収支事業

(単位:千円)

事業名	所管部署	予算	実績	主な実績
(磐田キャンパス(経営学部・スポーツ科学部))				
教員研究事業	総務課	15,530	15,494	個人研究費、特別研究支援経費16人
施設・設備一般管理事業	〃	115,346	115,220	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	13,250	12,974	第2グラウンド自動給水ユニット更新、女子サッカー部部室給湯器、一般修繕費用
教務管理事業	教務課	13,000	8,148	授業用消耗品、シラバス等印刷費、ジェネリックスキル測定テスト費用 他
寄付講座実施事業	〃	564	166	8講座 手土産代、会場経費、交通費 他
学生課外活動等支援事業	学生支援課	20,006	20,000	部会24団体、愛好団体11団体の活動支援費(大会参加費、旅費交通費等)
奨学支援事業	〃	174,994	135,714	新規132人、継続112人、修学支援新制度134人
学生支援課運営事業	〃	3,456	2,159	国際交流経費(厦門大学訪問、国際交流だより発行費、留学生交流会消耗品等)
就職支援事業	キャリア支援課	12,106	10,278	両学部合同企業ガイダンス、インターンシップ、キャリアカウンセラー費用 他
公務員試験対策講座事業	〃	3,100	2,966	講座講師委託費・旅費交通費(年間49コマ)
図書館管理運営事業	図書館課	7,710	6,295	データベース利用料、雑誌、新聞代
大学自己点検・評価推進事業	大学事務局	282	273	評価機構等年会費 他
入学試験事業	入試・広報室	9,558	9,477	入試関連印刷費 他
説明会・ガイダンス・高校訪問事業	〃	7,933	7,837	高校教員向け大学説明会3回、ガイダンス・高校訪問200回
オープンキャンパス事業	〃	4,608	4,379	オープンキャンパス7回開催(2024高校生参加者1,141名)
媒体広告事業	〃	30,956	27,793	進学情報誌・サイト8社、クロスメディア、DM、看板、各種広告製作、SSU NEWS等発行 他
大学案内・大学ホームページ事業	〃	14,014	10,287	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
入試広報管理運営事業	〃	551	509	入試・広報室運営経費
情報システム事業	情報システム課	34,355	32,456	コンピュータ整備、システム保守、インターネット回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	3,839	2,747	8事業 講座講師委託費・旅費交通費 他
スポーツ振興事業	スポーツ振興部	54,001	53,795	クラブコーチ外部委託費・旅費交通費、クラブスカウト活動費用 他
総合型地域スポーツクラブ事業	〃	17,704	16,604	スクール指導者委託費・旅費交通費、指導者研修費用 他
スポーツ教育研究センター事業	〃	2,004	513	NEWS LETTER発行、『スポーツと人間』発行費用 他
(藤枝キャンパス(経営学部))				
教員研究事業	総務課	9,578	7,152	個人研究費、特別研究支援経費 4人
地域課題解決事業	〃	2,130	1,688	藤枝市地域政策研究・創造事業 他
施設・設備一般管理事業	〃	49,978	48,892	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	7,273	6,989	体育館安全改修、受水槽バルブ交換、一般修繕費用
サテライトキャンパス事業	〃	10,004	9,754	藤枝駅前サテライトキャンパス運営費用
教務管理事業	教務課	6,348	4,580	授業用消耗品、シラバス等印刷費、ジェネリックスキル測定テスト費用 他
寄付講座実施事業	〃	357	179	8講座
学生課外活動等支援事業	学生支援課	6,072	5,982	部活動支援 他
奨学支援事業	〃	106,136	100,702	新規 297人、継続 227人、修学支援新制度 77人
学生支援課運営事業	〃	4,101	4,052	国際交流推進 1,324、留学生募集 2,231 他
就職支援事業	キャリア支援課	6,312	5,231	両学部合同企業ガイダンス、インターンシップ、キャリアカウンセラー費用 他
公務員試験対策講座事業	〃	2,706	2,378	講師委託費 年間198コマ、旅費交通費3回
図書館管理運営事業	図書館課	7,613	7,359	データベース 4件、和洋雑誌 85誌、新聞 10紙 他
美術館運営事業	〃	718	417	浦田周社木版画美術館管理運営費用
大学自己点検・評価推進事業	大学事務局	188	182	評価機構等年会費 他
入学試験事業	入試・広報室	7,047	6,948	入試関連印刷費 他
説明会・ガイダンス・高校訪問事業	〃	5,272	5,170	高校教員向け大学説明会3回、ガイダンス・高校訪問200回
オープンキャンパス事業	〃	2,506	2,416	オープンキャンパス7回開催(2024高校生参加者1,141名)
媒体広告事業	〃	24,838	18,529	進学情報誌・サイト8社、クロスメディア、DM、看板、各種広告製作、SSU NEWS等発行 他
大学案内・大学ホームページ事業	〃	10,611	6,805	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
入試広報管理運営事業	〃	449	322	入試・広報室運営経費
情報システム事業	情報システム課	26,888	25,614	コンピュータ整備、システム保守、インターネット回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	14,610	10,350	市民大学、資格取得講座運営、6大学連携講座、活動経費等
スポーツ振興事業	スポーツ振興部	4,867	4,796	クラブコーチ外部委託費・旅費交通費、クラブスカウト活動費用 他

(単位:千円)

事業名	所管部署	予算	実績	主な実績
(高等学校)				
教職員研修事業	高校事務局	5,039	3,566	授業評価アンケート、教員資質向上研修、職員研修 他
施設・設備一般管理事業	〃	71,150	64,687	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費 他
施設・設備等修繕事業	〃	6,948	6,224	高圧ケーブル取替、一般修繕費用
奨学支援事業	〃	99,323	83,532	奨学生 新規117人、継続196人、入学金減免111人
全国大会出場支援事業	〃	24,640	24,613	高校総体、サッカープレミアリーグ等 出場旅費支援
生徒募集事業	〃	16,297	16,223	入試説明会1回、体験入学6回、個別相談会6回 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	14,664	13,662	教員用ipad通信費、SE業務委託費用、ファイアウォール保守 他
国際交流事業	国際交流課	5,031	4,081	オーストラリア研修、ニュージーランド'優秀生徒派遣プログラム
SGT事業等 新教育に関する事業	教務課 他	981	742	教材費、外部講師謝礼、交通費 他
(中学校)				
施設・設備一般管理事業	中学事務局	10,580	9,909	各種保守管理費、光熱水費、火災保険料 他
奨学支援事業	〃	4,794	4,352	奨学生 新規5人、継続7人
全国大会出場支援事業	〃	2,831	2,480	全国大会出場旅費支援(サッカー、柔道、卓球)
生徒募集事業	〃	9,765	9,538	体験入学6回、個別相談会6回 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	3,956	3,725	教員用ipad通信費、SE業務委託費用 他
SGT事業等 新教育に関する事業	教務課 他	1,463	1,168	教材費、外部講師謝礼、交通費
(法人事務局)				
人事管理運営事業	総務課	9,798	9,511	採用経費、人事・給与システム保守費用、派遣職員委託費 他
法人研修事業	〃	2,530	815	事務職員合同研修会、事務職員管理職研修会委託費 他
法人広報・渉外事業	〃	5,508	1,875	戦略広報経費 他
理事会・評議員会等運営事業	〃	2,751	2,252	理事会4回、評議員会4回、常任理事会9回
会計事務管理事業	〃	1,481	1,441	会計システム保守費用 他
各種システム再構築事業	〃	1,917	1,881	業務系サーバ運用ネットワーク整備 他

(2) 施設整備等活動収支事業

(単位:千円)

事業名	所管部署	予算	実績	主な実績
(磐田キャンパス(経営学部・スポーツ科学部))				
施設整備事業	総務課	122,132	98,921	トレーニングルーム改修工事及びトレーニング機器更新、1号館空調更新工事 他
情報関連設備整備事業	情報システム課	29,590	25,726	3号館4教室プロジェクター及びスクリーン更新、3204PC教室改修工事及びPC本体等更新 他
3号館整備事業	教務課	27,221	28,153	第2スポーツセンターウォータークーラー更新、3号館机・椅子・教卓リニューアル工事
(藤枝キャンパス(経営学部))				
施設整備事業	総務課	27,059	18,931	キュービクル、ゴミ集積倉庫更新、西側斜面防砂壁設置 他
情報関連設備整備事業	情報システム課	5,836	3,449	2号館4教室プロジェクター及びスクリーン、職員用PC更新 他
(高等学校)				
教室整備事業	高校事務局	17,243	20,310	トイレ洋式化工事
教育用PC等整備事業	〃	6,986	6,771	印刷室用印刷機更新
職員用PC等整備事業	〃	4,633	3,278	役員会議室机・椅子更新
視聴覚備品等整備事業	教務課	6,122	5,247	大型液晶モニター18台購入
(中学校)				
教育用PC等整備事業	高校事務局	1,747	1,693	印刷室用印刷機更新

Ⅲ 財務の概要

1 資金収支について

○ 資金収支計算書の概要

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容と、その支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

本法人の資金収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

なお、施設関係支出には、磐田キャンパスの1号館空調設備更新工事に係る費用を含んでおり、設備関係支出には、磐田キャンパスの3号館机・椅子・教卓更新、トレーニングルーム機器更新に係る費用を含んでおります。

【収入の部】

(単位:千円)

科 目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
学生生徒等納付金収入	2,515,203	2,694,926	2,749,924	2,652,651	2,532,274
手数料収入	72,781	75,561	71,158	74,080	73,045
寄付金収入	44,046	34,795	39,853	50,359	13,256
補助金収入	901,653	934,943	961,162	839,791	772,008
資産売却収入	4	0	816	0	0
付随事業・収益事業収入	58,007	55,548	52,435	91,086	42,773
受取利息・配当金収入	886	1,021	882	804	899
雑収入	175,053	99,565	161,581	172,633	110,590
前受金収入	290,543	283,308	318,289	339,612	376,638
その他の収入	216,411	287,083	327,173	262,298	255,305
資金収入調整勘定	△ 441,864	△ 445,551	△ 535,220	△ 582,539	△ 553,038
前年度繰越支払資金	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952
収入の部合計	6,755,764	6,824,220	7,001,403	6,496,104	6,102,708

【支出の部】

科 目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
人件費支出	2,038,638	1,971,072	2,016,770	2,008,013	1,942,978
退職金支出	125,834	61,090	127,222	121,220	74,097
教育研究経費支出	1,010,708	1,069,592	1,040,050	900,653	879,305
奨学費支出	324,301	345,892	396,910	348,465	354,128
管理経費支出	365,421	388,763	367,176	373,309	323,367
借入金等利息支出	0	0	0	89	373
借入金等返済支出	0	0	0	25,248	30,528
施設関係支出	122,598	255,287	531,162	170,085	193,027
設備関係支出	99,250	84,428	132,676	56,164	55,325
資産運用支出	74,760	69,287	101,005	84,914	64,189
その他の支出	75,790	132,195	111,724	114,635	128,506
資金支出調整勘定	△ 126,755	△ 69,444	△ 102,181	△ 90,356	△ 110,220
翌年度繰越支払資金	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326
支出の部合計	6,755,764	6,824,220	7,001,403	6,496,104	6,102,708

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

○活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金支出の決算額を「教育活動による資金収支」、「施設整備等の活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の活動ごとに区分して記載する計算書であります。

(単位:千円)

科 目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,756,241	3,882,162	3,973,311	3,852,767	3,538,097
教育活動資金支出計	3,414,769	3,429,428	3,423,997	3,281,976	3,145,651
差引	341,472	452,734	549,314	570,790	392,445
調整勘定等	36,571	1,891	△ 4,256	△ 75,987	△ 9,048
教育活動資金収支差額	378,044	454,625	545,057	494,803	383,397
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	10,509	13,178	63,621	27,835	5,853
施設整備等活動資金支出計	221,849	339,715	663,839	226,250	248,353
差引	△ 211,339	△ 326,537	△ 600,217	△ 198,415	△ 242,500
調整勘定等	△ 5,574	△ 1,738	9,949	△ 7,308	△ 12,077
施設整備等活動資金収支差額	△ 216,914	△ 328,276	△ 590,268	△ 205,723	△ 254,577
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	161,130	126,348	△ 45,211	289,079	128,820
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	173,164	93,529	122,155	89,258	100,980
その他の活動資金支出計	161,981	99,859	127,270	120,318	109,022
差引	11,183	△ 6,330	△ 5,115	△ 31,060	△ 8,041
調整勘定等	0	0	0	0	△ 4,404
その他の活動資金収支差額	11,183	△ 6,330	△ 5,115	△ 31,060	△ 12,446
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	172,313	120,018	△ 50,326	258,019	116,373
前年度繰越支払資金	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326	2,478,952
翌年度繰越支払資金	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

1-2 施設整備等活動(設備投資)関連収支について

限られた収入の中で、安定した財政基盤を維持しつつ、必要な施設整備を実施していくため、本法人では、投資する資金額に対応した財源の確保を目的として、各種資産の取得に関連する収支を抽出、整理して管理しています。

本法人の固定資産(設備投資)関連収支の実績は、次のとおりであります。

なお、2024年度の施設設備寄付は、藤枝キャンパスの食堂キャッシュレス券売機、図書館前学生用複合機を、施設設備補助金は、磐田キャンパスの私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)を含んでおり、建物には、磐田キャンパスの1号館空調設備更新工事に係る費用を、機器備品には、磐田キャンパスの3号館机・椅子・教卓更新、トレーニングルーム機器更新に係る費用を含んでおります。

【施設整備等活動収入】

(単位:千円)

科目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
施設設備寄付金	2,988	5,720	12,805	20,160	5,853
現物寄付	7,041	9,911	7,386	5,158	5,018
施設設備補助金	7,517	7,458	50,000	7,675	0
当年度収支からの組入額	0	0	0	0	0
小計(1)	17,546	23,089	70,191	32,993	10,871
引当特定資産からの繰入	0	0	0	0	0
資産売却その他	4	0	816	0	0
小計(2)	17,550	23,089	71,007	32,993	10,871
留保資金からの充当額	211,545	326,967	600,685	224,803	273,825
収入合計	222,054	340,145	664,306	252,638	279,678

【施設整備等活動支出】

科目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
借入金等返済	0	0	0	25,248	30,528
土地	0	0	0	0	0
建物	121,267	225,678	513,216	161,696	26,247
構築物	1,331	29,609	17,946	8,233	163,677
建設仮勘定	0	0	0	155	3,102
機器備品	94,095	79,151	104,206	50,384	40,519
図書	5,155	5,276	6,527	5,780	7,162
車両	0	0	21,942	0	7,643
その他	205	430	467	1,140	797
支出合計	222,054	340,145	664,306	252,638	279,678

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

2 事業活動収支について

○ 事業活動収支計算書の概要

「事業活動収支計算書」は、学校法人の当該会計年度における教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動、の3つの活動区分ごとに、事業活動収入及び事業活動支出の内容と、その均衡状態を明らかにし、学校経営の健全性を維持するための指標であります。

本法人の事業活動収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

(単位:千円)

科目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
教育活動収支					
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	2,515,203	2,694,926	2,749,924	2,652,651	2,532,274
手数料	72,781	75,561	71,158	74,080	73,045
寄付金	41,058	29,075	27,048	30,199	7,569
経常費等補助金	894,136	927,485	911,162	832,116	772,008
付随事業収入	58,007	55,548	52,435	91,086	42,773
雑収入	175,053	99,565	161,581	172,633	110,590
教育活動収入計	3,756,241	3,882,162	3,973,311	3,852,767	3,538,262
事業活動支出の部					
人件費	2,040,254	1,974,864	2,022,925	2,044,863	1,970,749
教育研究経費	1,482,369	1,533,688	1,495,088	1,370,798	1,372,771
減価償却額	471,661	464,095	454,631	470,145	493,390
管理経費	429,454	445,842	424,530	431,281	381,867
減価償却額	64,033	57,079	57,353	57,972	58,409
徴収不能額等	0	4,601	0	0	311
教育活動支出計	3,952,079	3,958,996	3,942,544	3,846,944	3,725,699
教育活動収支差額	△ 195,837	△ 76,833	30,766	5,823	△ 187,437
教育活動外収支					
事業活動収入の部					
受取利息・配当金	886	1,021	882	804	899
その他の教育活動外収入	1,739	300	300	275	100
教育活動外収入計	2,626	1,321	1,182	1,079	999
事業活動支出の部					
借入金等利息	0	0	0	89	373
教育活動外支出計	0	0	0	89	373
教育活動外収支差額	2,626	1,321	1,182	990	626
経常収支差額	△ 193,211	△ 75,512	31,949	6,813	△ 186,810
特別収支					
事業活動収入の部					
資産売却差額	4	0	816	0	0
その他の特別収入	17,546	23,089	70,191	32,993	10,871
特別収入計	17,550	23,089	71,007	32,993	10,871
事業活動支出の部					
資産処分差額	8,383	16,373	9,376	1,546	10,442
特別支出計	8,383	16,373	9,376	1,546	10,442
特別収支差額	9,167	6,716	61,630	31,446	428
基本金組入前当年度収支差額	△ 184,044	△ 68,796	93,580	38,260	△ 186,381
基本金組入額	△ 143,324	△ 301,101	△ 627,773	△ 202,034	△ 63,264
当年度収支差額	△ 327,368	△ 369,897	△ 534,192	△ 163,774	△ 249,645
前年度繰越収支差額	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	△ 5,414,111
基本金取崩額	518	0	0	0	3,701
翌年度繰越収支差額	△ 7,054,770	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056
(参考)					
事業活動収入計	3,776,418	3,906,573	4,045,502	3,886,840	3,550,133
事業活動支出計	3,960,462	3,975,369	3,951,921	3,848,580	3,736,515

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

3 資産、負債等について

○ 貸借対照表の概要

学校法人の「貸借対照表」は、教育活動のために必要な資産の保有状況を表示するものであります。

本法人の貸借対照表の概要は、次のとおりであります。

【資産の部】

(単位:千円)

科 目	2024年度末	2023年度末	2022年度末	2021年度末	2020年度末
固定資産	14,467,804	14,790,425	14,982,073	14,838,072	15,137,348
有形固定資産	14,385,686	14,700,874	14,888,795	14,734,824	15,033,079
土地	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350
建物	6,948,241	7,177,167	7,287,751	7,102,788	7,258,956
構築物	285,584	371,929	425,263	491,319	570,796
教育研究用機器備品	430,833	420,920	429,875	411,890	480,836
図書	620,845	621,788	631,814	626,330	621,392
建設仮勘定	0	0	0	155	3,102
特定資産	39,245	45,878	49,613	54,806	55,962
その他の固定資産	42,872	43,672	43,665	48,441	48,306
流動資産	3,326,856	3,113,778	3,078,367	3,140,566	2,835,927
現金預金	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326
資産の部合計	17,794,660	17,904,203	18,060,441	17,978,639	17,973,276

【負債及び純資産の部】

科 目	2024年度末	2023年度末	2022年度末	2021年度末	2020年度末
固定負債	473,771	472,156	468,364	462,208	425,358
長期借入金	0	0	0	0	0
退職給与引当金	473,771	472,156	468,364	462,208	425,358
流動負債	570,146	497,260	588,494	606,427	676,175
短期借入金	0	0	0	0	25,248
前受金	290,543	283,308	318,289	339,612	376,638
負債の部合計	1,043,918	969,416	1,056,858	1,068,636	1,101,534
基本金	23,805,512	23,662,707	23,361,605	22,733,832	22,531,798
繰越収支差額	△ 7,054,770	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056
負債及び純資産の部合計	17,794,660	17,904,203	18,060,441	17,978,639	17,973,276

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

4 収益事業(指定管理事業)の状況について

2017年10月から、藤枝市が「教育・文化の拠点」、「産学官での人の流れをつくる情報ビジネス創造拠点」として設置した「藤枝市産学官連携推進センター」の指定管理業務を受託し、同施設の運営管理事業を開始しました。

当該事業の貸借対照表及び損益計算書の概要は、次のとおりであります。

【貸借対照表】

(単位:千円)

科 目	2024年度末	2023年度末	2022年度末	2021年度末	2020年度末
流動資産	14,288	12,278	11,519	11,883	12,106
固定資産	0	0	0	0	0
資産合計	14,288	12,278	11,519	11,883	12,106
流動負債	0	12	354	285	2,506
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	0	12	354	285	2,506
純資産合計	14,288	12,266	11,165	11,598	9,600
元入金	33,488	33,488	33,488	33,488	33,488
利益剰余金	△ 19,199	△ 21,221	△ 22,322	△ 21,889	△ 23,887
負債・純資産合計	14,288	12,278	11,519	11,883	12,106

【損益計算書】

科 目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
営業収益合計	10,081	10,512	9,534	9,859	11,059
営業費用合計	9,634	9,411	9,966	7,861	8,650
営業利益	446	1,100	△ 432	1,997	2,409
営業外収益合計	1,575	0	0	0	0
営業外費用合計	0	0	0	0	0
経常利益	2,021	1,100	△ 432	1,997	2,409
当期純利益	2,021	1,100	△ 432	1,997	2,409

注) 各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて表示しています。

財務比率の推移

(単位：%)

項目	部門	静岡産業大学				静岡学園中・高等学校			合計	純計
		経営学部	情報学部	スポーツ科学部	計	高等学校	中学校	計		
人件費比率 ▼ 人件費 経常収入	2020年度	45.2	84.0	—	50.8	60.9	64.4	61.5	55.7	55.7
	2021年度	45.4	76.0	53.4	48.2	58.3	63.1	59.1	53.1	53.1
	2022年度	45.0	164.1	42.2	45.5	58.3	58.0	58.3	50.9	50.9
	2023年度	47.4	—	40.0	45.7	56.3	60.4	56.9	50.9	50.9
	2024年度	49.8	—	45.5	48.4	60.4	59.6	60.3	54.3	54.3
人件費依存率 ▼ 人件費 学生生徒等納付金	2020年度	54.3	99.2	—	60.9	120.6	122.3	120.9	77.8	77.8
	2021年度	57.6	97.6	74.8	61.6	115.3	120.3	116.3	77.1	77.1
	2022年度	56.7	172.6	55.4	57.6	116.3	110.9	115.3	73.6	73.6
	2023年度	58.5	—	51.1	56.9	113.7	114.0	113.8	73.3	73.3
	2024年度	61.8	—	57.3	60.4	134.6	112.8	130.6	81.1	81.1
教育研究費比率 △ 教育研究経費 経常収入	2020年度	42.7	31.7	—	41.1	37.8	20.7	34.7	38.8	38.8
	2021年度	35.0	29.9	61.9	36.7	36.1	21.0	33.5	35.6	35.6
	2022年度	37.1	32.5	47.0	38.5	38.3	25.0	36.0	37.6	37.6
	2023年度	38.4	—	38.6	38.5	44.1	26.6	41.3	39.5	39.5
	2024年度	44.1	—	37.2	41.9	38.6	21.7	35.9	39.4	39.4
管理経費比率 ▼ 管理経費 経常収入	2020年度	12.5	5.6	—	11.5	4.8	5.6	5.0	10.8	10.8
	2021年度	11.8	9.3	31.8	13.1	4.6	5.9	4.8	11.2	11.2
	2022年度	11.4	9.7	21.1	12.7	4.3	6.0	4.6	10.7	10.7
	2023年度	13.9	—	14.2	13.9	4.3	6.1	4.6	11.5	11.5
	2024年度	15.0	—	13.5	14.6	3.7	5.5	4.0	11.4	11.4
事業活動支出比率 ▼ 事業活動支出 経常収入	2020年度	103.8	121.9	—	106.4	108.1	90.7	104.9	108.6	105.6
	2021年度	94.1	115.2	148.3	99.7	102.4	90.1	100.2	102.1	99.9
	2022年度	95.3	230.4	112.1	98.7	103.9	89.2	101.4	101.5	99.4
	2023年度	102.1	—	95.0	100.5	107.5	94.0	105.3	104.3	102.4
	2024年度	110.7	—	98.7	107.0	105.9	86.8	102.9	107.5	105.4
学生生徒等納付金比率 ◇ 学生生徒等納付金 経常収入	2020年度	83.1	84.6	—	83.3	50.5	52.6	50.9	71.5	71.5
	2021年度	78.9	77.9	71.4	78.2	50.5	52.4	50.9	68.8	68.8
	2022年度	79.4	95.1	76.0	79.0	50.2	52.3	50.5	69.2	69.2
	2023年度	81.0	—	78.3	80.4	49.5	53.0	50.0	69.4	69.4
	2024年度	80.6	—	79.4	80.2	44.9	52.8	46.2	66.9	66.9
補助金比率 △ 補助金 事業活動収入	2020年度	11.3	10.3	—	11.1	40.4	41.7	40.6	21.1	21.7
	2021年度	11.5	12.7	10.0	11.4	40.8	41.9	41.0	21.1	21.6
	2022年度	14.7	0.0	16.5	14.9	40.0	45.2	40.9	23.3	23.8
	2023年度	12.6	—	13.0	12.7	43.5	44.4	43.7	23.5	23.9
	2024年度	11.5	—	12.5	11.8	43.6	44.6	43.8	23.4	23.9

(注) ・「項目」欄の △は高い値が良いもの、▼は低い値が良いもの、◇は一概にどちらともいえないものを示す。

・「純計」は、「合計」から学内振替分を除いた場合の数値。